

ゴールデンウィーク期間中の交通状況 (速報)

2019年4月26日(金)～5月6日(月)：11日間

※比較対象は前年の2018年4月27日(金)～5月7日(月)：11日間

①交通量 全国の高速道路の主な区間

	H31 (R1) 年度実績①	H30年度実績②	対比①/②
日平均交通量	50,100台/日	42,900台/日	117%
最大日交通量	60,000台/日	55,800台/日	108%

②混雑状況 渋滞回数

	H31 (R1) 年度実績①	H30年度実績②	対比①-②
10km以上の渋滞	553回	328回	+225回
うち30km以上の渋滞	51回	25回	+26回

会社区分	上下線	道路名	渋滞発生箇所	渋滞日時(ピーク)	渋滞延長	渋滞原因
東日本	下り線	E4東北道	羽生PA付近	4月28日(日) 7時10分頃 4月29日(月) 9時20分頃 5月2日(木) 8時45分頃	40.6km	事故及び交通集中 交通集中及び事故 事故及び交通集中
	上り線	E4東北道	久喜IC付近	5月2日(木) 18時10分頃	49.7km	交通集中及び事故
中日本	下り線	E20中央道	上野原IC付近	5月2日(木) 8時15分頃	49.5km	交通集中及び事故
	上り線	E1東名高速	秦野中井IC付近	5月4日(土) 17時50分頃	43.8km	事故及び交通集中
西日本 本四	下り線	E1名神高速	旧山科BS付近	4月29日(月) 18時10分頃	41.6km	交通集中及び事故
	上り線	E1名神高速	草津JCT付近	5月3日(金) 7時45分頃	39.7km	交通集中及び事故

《特に長い渋滞発生箇所 各社の上下別ワースト1位》

国土交通省道路局と高速道路各社はゴールデンウィーク期間中の高速道路・国道の交通状況の速報値を発表した。

ゴールデンウィーク期間中に、以上の渋滞回数は、225回増加した。このうち30km以上の渋滞回数は、26回増加した。

賑

2007年1月、米アップル社が初めてiPhoneを発表した。当時は、後に日本でスマートフォンがこれほどまでに普及すると予想できた方はそう多くないのではないだろうか。

総務省が発表した『平成30年度版情報通信白書』によると、2017年時点での1個人のインターネット利用率が80.9%。いかにインターネットが私たちの生活に根付いているかを如実に表す数値である。

端末別の利用率を見ると、スマートフォン(59.7%)がもっとも高く、パソコン(52.5%)の利用率を上回る結果となった。使用する場所を選ばない手軽さや、インター

フェイスのわかりやすさから来るスマートフォンの普及により、インターネットに接続する環境がパソコン中心から、スマートフォンやタブレットを含めた携帯端末中心に変化している。

インターネットで情報を得る手段が持ち運び可能なモバイル端末中心へと変化しているという。このこと、インターネットがより身近に、「いつでもどこでも」利用しうるものへと変わっているということだ。

従来、企業や自治体などがインターネットを利用して情報を発信するにあたっては、WEBサイトを作成し、ユーザーがパソコンからそれを

た。たとえば高速道路事業者でも、自社のWEBサイト以外にスマートフォンアプリを利用して高速道路の料金検索や渋滞情報などを提供している例がある。スマートフォンのGPS機能を利用したり、プッシュ通知

また、高速道路事業者による自社サイト以外での情報提供の例として、アプリ以外に、TwitterやFacebook、Instagramなど国内ユーザー数が多いSNSの利用が挙げられる。

上記の例では各WEBサービスのフォーマットに合わせる形で、短い

文章や写真など「スキマ時間」でもユーザーが閲覧できるコンテンツを提供しており、「いつでもどこでも」の特性を持つモバイル通信とは非常に親和性が高い。

このように、インターネットを利用した情報提供はその手法・見せ方ともに、利用端末などユーザーの置かれている環境により変化がもたらされている。

通信・ITは日進月歩の世界であり、この先ハード・ソフトともにさらなる変化を続けていくことが予想される。情報を発信・提供する高速道路事業者にとっても、その時代ごとのユーザーが求める形での情報提供のあり方が求められることだろう。

「モバイル時代」における情報提供の多様化

2007年1月、米アップル社が初めてiPhoneを発表した。当時は、後に日本でスマートフォンがこれほどまでに普及すると予想できた方はそう多くないのではないだろうか。

総務省が発表した『平成30年度版情報通信白書』によると、2017年時点での1個人のインターネット利用率が80.9%。いかにインターネットが私たちの生活に根付いているかを如実に表す数値である。

端末別の利用率を見ると、スマートフォン(59.7%)がもっとも高く、パソコン(52.5%)の利用率を上回る結果となった。使用する場所を選ばない手軽さや、インター

ETC二輪車「ツーリングプラン」

【コース・プラン料金】 対象エリア内乗り降り自由

コース名	利用期間	プラン料金(税込)
北海道	[1] 道南・道北コース	3日間 6,000円
	[2] 道南・道東コース	3日間 6,000円
首都圏	[3] 関越道・上信越道コース	3日間 5,000円
	[4] 東北道・常磐道コース	3日間 7,500円
	[5] 東関東道・館山道コース	2日間 2,500円
	[6] 東名・中央道・中部横断道コースミニ	2日間 3,000円
	[7] 東名・中央道・中部横断道コースワイド	2日間 4,000円
中京圏	[8] 東名・中央道コース	3日間 5,000円
	[9] 伊勢道コース	2日間 3,000円
	[10] 東海北陸道・北陸道コース	3日間 5,000円
	[11] 中央道・東海北陸道コース	2日間 2,500円
関西圏	[12] 名神・北陸道・京都縦貫道コース	2日間 3,500円
	[13] 中国道・山陽道・播但道コース	2日間 3,000円
	[14] 阪和道コース	2日間 2,500円
四国	[15] 香川・徳島・高知コース	2日間 3,000円
	[16] 愛媛・高知コース	2日間 3,000円
九州	[17] 熊本・佐賀・長崎コース	2日間 3,000円
	[18] 熊本・大分・福岡コース	2日間 3,000円
	[19] 熊本・宮崎・鹿児島コース	3日間 4,500円

NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本、宮城県道路公社、京都府道路公社および兵庫県道路公社は、ツーリングプランの発売を開始した。

本プランは最大2日間(または3日間)、対象エリアの高速道路が定額で乗り降り自由となる。

また、今回のプランは、昨年実施した首都圏、中京圏、関西、九州の各コースをリニューアルしたことに加え、新たに北海道で2コース、4国で2コースを追加し、各地のツーリングスポットを満喫できる全19コースを設定した。

なお、当日の天候などを踏まえ、走行直前でも申し込み・解約ができる。(キャンセル料は不要)

【対象期間】
2019年4月26日(金)～11月30日(土)
(北海道2コースは、2019年4月26日(金)～10月31日(木))

【対象車両】
ETC無線通信により高速道路を走行可能な二輪車

2019 信州めぐりフリーパス

https://hayatabi.c-nexco.co.jp/

2019年5月8日(水)～11月25日(月)のうち、連続する最大2日間または3日間。

※ただし、2019年8月9日(金)～8月19日(月)は除く。

【対象車種】
ETCで利用の普通車・軽自動車等(二輪車含む)。
※ETCコーポレートカードは利用できない。

【申し込み方法】
①NEXCO中日本公式WEBサイトより申し込み
②申込受付期間
2019年11月24日(日)まで

※高速道路の利用開始前までに申し込みが必要。

【優待特典】
①長野県内各地の観光施設の特典
②周遊エリア内のSA・PAでの特典
③アンケートに回答すると抽選で、長野県PRキャラクター「アルクマ」グッズなどをプレゼント
④E-NEXCO passを利用の方に通常のポイントに加えてE-NEXCOポイントを50Pプレゼント

【開催場所】
2019年5月25日(土)～7月15日(月・祝)
【申し込み時間】
9:00～18:00
【参加費】
無料

高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

- 【工事通行止め】
- ◇仙台北部道路 利府JCT～富谷IC
6月3日(月)～6月5日(水) 各日21:00～6:00
 - ◇仙台南部道路 仙台若林JCT～仙台南IC
6月17日(月)～6月19日(水) 各日21:00～6:00
 - ◇東海北陸道 飛騨清見IC～小矢部砺波JCT
6月17日(月)～7月5日(金)のうち10日間 各日20:00～6:00
- 【工事規制】
- ◇北陸自動車道 魚津IC～黒部IC 昼夜連続対面通行規制
5月17日(金) 5:00～7月30日(火) 24:00
 - ◇北関東自動車道 高崎JCT～前橋南IC 昼夜連続車線規制
6月7日(金) 10:00～6月9日(月) 14:00
6月14日(金) 10:00～6月16日(月) 14:00
6月22日(土) 10:00～6月24日(火) 14:00
6月29日(土) 10:00～7月1日(火) 14:00

東名高速道路の全SA(11エリア)

【開催期間】
2019年5月25日(土)～7月15日(月・祝)

【申し込み時間】
9:00～18:00

【参加費】
無料

【開催場所】
東名高速道路の全SA(11エリア)

東名高速道路全線開通50周年記念



NEXCO中日本は、2019年5月26日に東名高速道路が全線開通50周年を迎えるのを記念して、『リアル謎解きゲーム(参加無料)』を開催する。

【参加方法】
各SAのエリアコンシェルジュで謎解きキットを受け取り、謎の答えがわかり正解すると景品をプレゼント。